

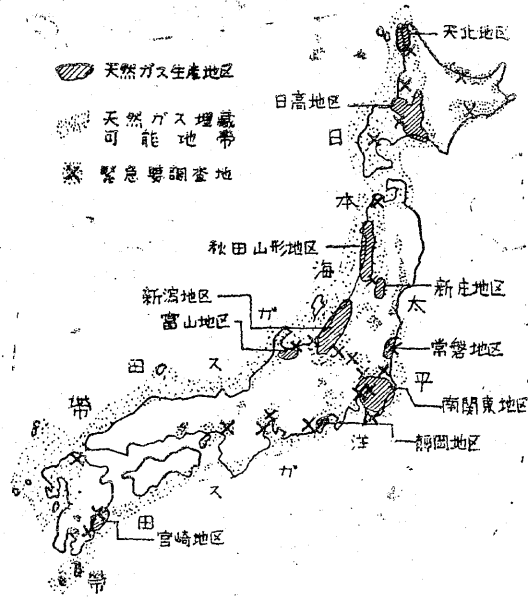


### 常磐地のガス開発

#### 天然ガスは日本 てどの位あるか

下図は天然ガス埋蔵地域の分布図であるが、その推定埋蔵量は次の様である。

天北地区、五一七億立方メートル  
日高地区、一一〇〇億立方メートル  
秋田・山形、二〇〇億立方メートル  
新庄地区、七億立方メートル  
新潟地区、一、三〇八億立方メートル  
常磐地区、五〇〇億立方メートル  
南関東地区、二二〇〇億立方メートル  
富山地区、一七億立方メートル  
静岡地区、五〇億立方メートル  
長野地区、三三億立方メートル  
三十七億立方メートル  
高崎地区、三六億立方メートル  
合計、三、六九二億立方メートル及び未調査分多量



天然ガス埋蔵地域分布図 (地質調査所石油課資料より)

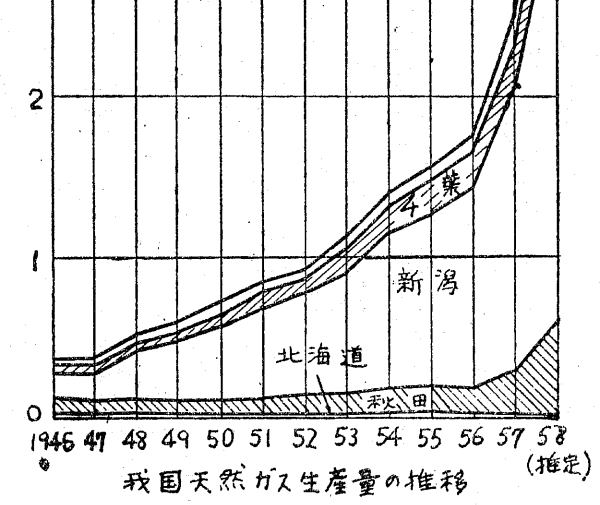
天然ガスはどの位の生産されているか  
下図は我が国天然ガスの生産の推移を示す。

埋蔵量に於て第一位の南関東(千葉県)、埋蔵量第二位の新潟(秋田県)は、埋蔵量第三位の秋田(秋田県)は石油井戸の数が多かった。

### 石に関する伝説

▽不動尊の石  
常磐市上野原谷に不動尊の小祠があれ、祠の形が石の形に似ていて、その水が流したる際、この水が飲めば乳の出ない人は出るようになる、又この

▽乳石  
内郷市白水にある乳石は、女の乳首に似ていて、そこから水が流したる際、この水が飲めば乳の出ない人は出るようになる、又この



て石になった。カマキリが突き出すと石から血が出るという、ここからかなり離れた山奥という所があるが、その山奥に石の山がある。その山奥に石の山がある。その山奥に石の山がある。

▽女房石  
平市高久の神澤山に女房の形をした石があれ、十層の石が積み重なって、昔は女房と呼ばれていた。昔は女房と呼ばれていた。昔は女房と呼ばれていた。

▽ひろい話  
常磐炭鉱の常磐団は全国に名を知られた。とにか立派なものだ。日石の社長が役員を立てて迎えた。おれたちは福島だけだ。これは常磐炭鉱の話である。

▽後援者  
常磐炭鉱の常磐団が活躍している中、一人の男が活躍している。その男は、試合を見る目も、シンカリしている。



城山カラス

▽あこひもの役目  
せむきくすな男が、大きなヘルメットをかぶっている警官に向い「ヘルメットがあなたの頭にちゃんと載っているのよ、そのあこひものせむきくすな」と警官は、あこひもの役目を果たした。あこひもの役目を果たした。あこひもの役目を果たした。

▽親切心もあつた  
教会で牧師がお説教をしていると、聴衆のなかの母親は泣きだした。赤ん坊が泣きだした。赤ん坊が泣きだした。赤ん坊が泣きだした。

付に、これにやうな乾性ガスの量が多い。常磐は全国的には未だ多量なガスを産出していない。今に見てくれ、と我々は言いたい。言いたい、そう言える様になるまで吾々は進んで、二回上層部から落着いた。爆発の怖しさを覚えて、運命にある。現場の人達も我々も大いに驚き、神様を祈る。次に示すのは、我が国天然ガス生産量を乾性ガスと湿性ガスに分けて見ると、乾性ガスの比率が高いのを知ることが出来る。

## 暑中御伺い、申し上げます 33年盛夏

<p><b>勿来鉱業株式会社</b></p> <p>常務取締役 角 貞夫 取締役 角 貞夫 常務取締役 角 貞夫 常務取締役 角 貞夫 常務取締役 角 貞夫</p>	<p><b>羽幌炭鉱鉄道KK</b></p> <p><b>三松採炭所</b></p> <p>所長 小坂 充 勿来市三沢町</p>	<p><b>愛国炭礦</b></p> <p>社長 中根 昇 勿来市勿来駅前</p>	<p><b>富樫炭礦</b></p> <p>社長 富樫 彌一 勿来市山田町富樫七三</p>	<p><b>油谷鉱業KK</b></p> <p><b>小川鉱業所</b></p> <p>小川 駅前</p>	<p><b>昭和工業株式会社</b></p> <p>社長 小湊 恒太郎 四倉町仁井田 電四四・三五四</p>
<p><b>植田郵便局</b></p> <p>局長 星 克夫</p>	<p><b>錦郵便局</b></p> <p>局長 金成源右衛門</p>	<p><b>川部農業協同組合</b></p> <p>組合長 田子 浦次</p>	<p><b>植田農業協同組合</b></p> <p>組合長 藤田 重男</p>	<p><b>富岡町金融団</b></p>	<p><b>双葉郡郵便局長会</b></p> <p><b>田人村農業協同組合</b></p> <p>組合長 緑川 萬壽吉</p>



